

2024年度

授業概要

科目名		徒手理学療法学			授業の種類	講義	講師名		
授業回数	8回	時間数	15時間	(1単位)	配当学年・時期	理学療法士科4年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕 理学療法士は臨床において徒手理学療法を実施する場面も多い。 徒手療法には様々な方法があり、臨床で実施されている。 この授業では基礎的な内容の習得を目的とする									
〔授業全体の内容の概要〕 主に腰痛に対する理学療法を中心に行う。 基礎的な知識面に関しては座学を行い、手技に関しては実技を実施する。									
〔講師の実務経験〕									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕 各項目における基礎的な知識と実技を習得する									
回数	講義内容								
1	腰部下肢骨盤帯の解剖学と運動学 触診を含めた基礎的実技								
2	問診とスクリーニング								
3	検査（神経症状の確認、ストレステスト、筋への検査）								
4	検査（神経症状の確認、ストレステスト、筋への検査）								
5	検査（神経症状の確認、ストレステスト、筋への検査）								
6	治療（モビライゼーション、スタビライゼーション、姿勢指導）								
7	治療（モビライゼーション、スタビライゼーション、姿勢指導）								
8	治療（モビライゼーション、スタビライゼーション、姿勢指導）								
【 準備学習・時間外学習 】									
【 使用テキスト 】									
書籍名					著者名		出版社		
腰痛に対する基礎的リハビリテーション					吉田優也		滋慶出版		
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】									
筆記試験で判定する									